

# 映画『Viva Niki タロット・ガーデンへの道』

監督・撮影・脚本 松本路子 ナレーション 小泉今日子 インタビュー出演 カミーユ・モリノー（美術キュレーター）、上野千鶴子（社会学者）ほか、全8名・  
日本 2024年 カラー&モノクロ 76分



## お話 松本 路子（写真家・エッセイスト・映画監督）



とき 1月18日（日）昼2時～5時（開場昼1時半）

ところ 公民館 地下ホール 定員 70名（申込先着順）

申込先 12月10日（水）朝9時～

電話または申込フォームより

お問い合わせ 042-572-5141（国立市公民館）

申込フォーム

公式HP



20世紀最初のフェミニスト・アーティストと称される、造形作家ニキ・ド・サンファル。女性としての苦悩を表現した作品群を経て、カラフルで自由の象徴である女性像「ナナ」シリーズ、独創的な野外彫刻などを生みました。その芸術の集大成ともいえるのが、イタリアに20年の歳月をかけて制作した彫刻庭園「タロット・ガーデン」。その作品群は壮大で遊び心に満ちています。

本作品の監督は、国内外で女性アーティストを撮り続ける写真家、松本路子さん。1981年にニキと出逢い、10年以上彼女の作品と肖像を撮影しました。近年、70歳を目前に、再びその生涯と向き合いたいと、映画を作りました。そんな松本さんに映画鑑賞後お話を伺います。

### 松本 路子

写真家・エッセイスト・映画監督  
1950年静岡県生まれ、法政大学文学部卒。海外レポート・人物ドキュメントを経て、1980年代より世界各地の女性アーティストの肖像を撮影し続け、写真集に『肖像 ニューヨークの女たち』（冬樹社）、『ニキ・ド・サンファル』（パルコ出版）、『Portraits 女性アーティストの肖像』（河出書房新社）、『DANCERS』（講談社）などがある。『魂の布 モンスーンアジア12人の女性作家たち』ほか、フォト＆エッセイ集多数出版。

多くの個展を開催し、写真作品は東京国立近代美術館、東京都写真美術館ほか、国内外の美術館に収蔵されている。映画「Viva Niki タロット・ガーデンへの道」は、初監督作品。2024年9月より2025年4月まで、全国劇場にてロードショー。